

# 平成26年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育総合推進事業費			
予算額	53,281千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 (目的 対象 方法等)	<b>1 目的</b> 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、一貫した支援を総合的に行う。 特別支援学校高等部の職業教育の充実を図るとともに、生徒による販売実習等を通して、府民との交流や企業の理解啓発を推進する。			
	<b>2 内容</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span>			
		事業名	内容	金額
	地域支援	特別支援教育サポート拠点事業	宇治支援学校内に、特別支援教育の拠点となるスーパーサポートセンターを設置 ・教員への体験型専門研修及び専門家チーム(医師、作業療法士等)による相談・支援等	4,500
		地域等連携推進事業	・全特別支援学校に地域支援センターを設置し、専任コーディネーターによる教育相談 ・巡回相談支援チーム(校医、地域福祉関係者、小中学校教員等)による教育相談	3,645
	研究	特別支援教育実践研究事業	文部科学省の委託によるインクルーシブ教育システムの構築等に係る実践研究	16,000
	特別支援学校教育	ボランティア活動推進事業	ボランティア養成講座や児童生徒によるボランティア活動を実施	1,754
		文化スポーツ交流事業	児童生徒が、文化芸術に直接親しむ機会や文化芸術を発表し自己実現する機会を創出	4,731
		医療的ケア体制充実事業	・医療的ケア実施体制整備の運営組織(府教育委員会、担当教員、関係機関で構成)を設置 ・各特別支援学校で医療的ケアを実施するため、喀痰吸引等研修を行うとともに、校内委員会を設置し安全を確保	4,152
	職業教育充実	「ふれあい・心のステーション」	全特別支援学校が参加し、生徒が自ら製作品の販売実習・実演を行い、府民との交流や企業の理解啓発を図る。(窯業・木工・縫製・農産品等) [時期] 平成26年9月(障害者雇用支援月間) [場所] 大丸京都店(予定)	2,300
特別支援学校高等部生徒の進路支援		進路指導担当教員等がハローワーク等関係機関と連携し、卒業後の進路決定に一層取り組めるよう非常勤講師を配置	7,000	
職業教育設備の充実		職業教育内容の充実のため、作業学習用機器の新規・更新整備(自動床洗浄機等)	9,199	
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当 教職員課 企画調整担当	課・担当 電話番号	075-414-5835 075-414-5789	